

日本では、20才以上の国民全員が「年金保険」に加入することになっています。年金とは一定年齢（大体65才）以上の国民が受給できる生活費のことです。今回は「年金保険」とはどのような制度なのか、簡単に紹介していきます。

今回のテーマ

〈年金保険とは？複雑な制度をアバウトに解説！〉

I 20才以上の日本人は、「年金保険」に必ず加入する！

- ① 20才以上が全員加入→ 国が運営する「国民年金」
- ② ①にプラスして企業公務員等が加入→ 企業が運営する「厚生年金」
- ③ ①②以外に、任意に加入→ 民間の年金保険

II 保険料は、一ヶ月約18000円

- ① 企業と本人が半分ずつ負担する→ 厚生年金
- ② 本人が全額負担する→ 国民年金（自営業・フリーランス等）
- ③ 年金として受給される額は、厚生年金の方が多い。

III 積み立てたお金が戻ってきている訳ではない？

- ① 国民が支払ったその月の保険料を、そのまま高齢者に渡している。
- ② 高齢者が多く、若者が少ないと赤字経営になる。

IV 加入手続きをしなかったり、滞納を続けると将来年金はもらえない！

- ① SNSで、「将来国民年金制度は、大きな赤字になり破綻する」「若者は、保険料を納めていても結局は高齢者になっても年金は受給されない」との情報が流れているのも事実。
- ② わざと保険料を納めていない人が存在することも事実。

V だから、「年金改革」として、将来持続可能な制度に変えていこうと国会で審議されている！

- ① 国を信じて納入してほしいとは思うのだが、強制できる話でもない。